

令和2年2月25日

活動計画書（組織）

東山田準工地域をまもる会

令和 2年9月迄	災害時に対応できる消火栓の操作方法の会得
3年2月迄	町内かとも連携して災害時に介護が必要な人たちのリストと会で出来る救護援助の確立
3年9月迄	将来に対しておき得る空き家等の問題をほかの地域を交えて情報交換し問題を共有する
4年9月迄	地域内の美化活動で三里橋サークルの行っているグリーンロード計画に会としてできる限りの協力

平成29年

3月28日：つづきつず、はい！様の呼びかけにより

「社会に生かせる学校教育」というテーマで

小中学校の現場の先生方と地域の皆様に準工地域を歩いた後に

モノ作りの面白さ、大切さを如何に教育現場で生かしていかれるかを話し合いました。

9月15日：(株)スリーハイさんが会社の一階部分を地域の皆様に利用していただくために会社の一階部分をカフェDENとしてオープンしました。

カフェだけでなく子供たちのモノ作りの場や地域集会の場としても活用できれば良いということでした。

オープニングには中島会長と安藤理事が出席。

準工のなかに気軽に集まる場所ができて大変良かったです。

9月18日：東山田4丁目会館で敬老の日のお祝いを町内会より行われました。

準工地域をまもる会としては安藤理事が出席。

今年も50人以上の年長者が参加され大変盛り上がり非常に楽しい会でした。

10月12日：12時45分からまちづくり推進委員会の方々が東山田準工地域を視察。

工場と住居の混在する地域で特に問題も発生せず、むしろ学校もふくめ全体参加でどの様にして地域づくりしているのかがテーマでした。

やはり権利を主張するからには義務を果たすことに尽きると思います。

今は義務というよりは準工地域だからできる特性をお互いに育てていくことに希望を感じるようになりました。

午後3時から都筑区の畑澤区長もお越しくださり、その後で

林市長もお越しくださいますして約1時間まちづくりに関しての懇談をもつことが出来ました。

出席者は地域の横浜ものまち人づくりの会、企業経営者、町内会会長、美里橋サークル、東山田準工地域をまもる会の12名で林市長とお話することが出来ました。

10月28日：第4回東山田準工地域をまもる会の総会を東山田4丁目会館で

10時30分から行いました。

会員数81名、出席者：10名、委任状51通、総会は成立。

議事録につきましては、別紙にて保管。

会の活動報告（第4回総会以降～第5回総会迄）

平成29年

10月28日：東山田準工地域まちづくりニュースを地域の皆様へ配布いたしました。
3年毎の地域まちづくり協定の組織認定が今回も無事に終了し更新できました事と最近までの地域活動をご報告しました。（第5号）

12月18日：社団法人 横浜もの・まち・ひとづくり様の声掛けで東山田準工地域内の工場から出る廃材を持ち合わせて、廃材から新たなモノ作りができないか？そのお話をDENで行いました。
実際いま工場から出ている廃材を各企業さんが持ち合い、色々な可能性について話をする事が出来ました。
今後につきましては、まず工場から出る廃材の具体的なリスト表を作成する事となりました。

平成30年

1月28日：4丁目町内会の総会に東山田準工地域をまもる会の役員が来賓として出席しました。今年も昨年と同様にいつ発生するか分からない災害、特に地震に対して地域協力体制の重要性を強く感じました。

2月23日：午後6時半からDENで横浜私立大の学生さんによる「東山田準工地域における全国の準工地域とのネットワークングの実践研究」についての報告発表がありました。
これは昨年の4月から地域の横浜もの・まち・ひとづくりさんとも一緒に取り組んで来られたテーマです。
まもる会の3役も出席し、発表のあと学生の皆さんとこれからの準工地域について、いかに魅力のある地域にしていけるかを話しました。
最後に大学生の就職活動について内定をもらうために企業としては何を求めているのか？また逆に企業は学生たちに自分の会社に来てもらうためには、彼らが何を企業にもとめているのか？を本音である程度は話せる事ができて大変良かったと思います。

3月6日：都筑区区政推進課の主催により都筑区役所で区内のまちづくり活動団体（6団体）の懇談会が午後6時から行われました。
東山田準工地域をまもる会からは役員3名が出席し意見交換を致しました。
港北ニュータウン建設事業が完了して20年余りが経過し、当初から活動されている団体もあり色々な面で参考になりました。

3月27日：お昼の時間にDENにおいて山田小学校6年生により豚汁の試食会が行われました。地域の方でしたらどなたでも参加OKで、作りたてで好評でした。

3月29日：車のクラクションの音で近隣の方々が迷惑しているとの連絡が入りまして直ぐに事情を聞きに向かいましたら、毎日決まって車が工場へ帰ってくる都度クラクションを何かの合図のように鳴らしていたらしく、一瞬ですが毎日のことなので迷惑だった様です。直ぐに持主の会社へ行き丁寧に事情をお話ししましたら、気持ちよく理解して頂きその後は一切そのようなことは無くなったとの事です。忙しいなかで自分では気が付かないが近隣の方々には大変迷惑をかけていることもあるので気おつけなければならぬと思いました。

6月：美里橋サークルさんがグリーンロード活動のなかで準工地域の道路沿いにプランター7基を設置して頂き今は綺麗な花柄が咲き準工地域のなかで又少し明るくなりました。

8月23日：横浜もの・まち・ひとづくりの主催で女子美術大学の生徒さん25名が準工地域の工場4社を見学に来られました。

目的は工場からでる廃材を使ってアップサイクル作品製作に向けての見学でした。工場としても今後、自家製品づくりに繋がれば良いと感じました。

その後

午後5時から横浜私立大学の生徒さんがゼミ活動のなかで東山田準工地域をまもる会についてインタビューのご依頼があり、会の発足理由、目的、活動経緯などをお話しました。

このように外部の方々がモノづくりの現場である準工地域に興味をもって頂くそのことだけで、それに携わっている人間としては喜びとなります。

9月17日：10時半から東山田4丁目町内会館で敬老の日の会へ来賓として、まもる会の理事が出席しました。今年も50名以上の高齢者をご参加されいつもの様に笑いの絶えない元気で楽しいお祝いの会でした。

9月25日：AEDの正しい使用方法の講習を消防署へお願いしましたところOKがでましてして次の日程で行うことが決まりました。

日時：10月11日 14:00～15:30

場所：(株)オウミ3階

10月4日：横浜もの・まち・ひとづくりの主催により、多分野のデザイナー組織であります KDF と JAGDA 神奈川の方々14名が工場見学に来られました。目的は工場から出る廃材材料を使って何か新しいモノができないかと？常に考えているなかで是非、どの様にして廃材ができるのかを見て確認したいとの事でした。

工場現場を見学した後は DEN で工場経営者を交えて、今後の廃材を生かす可能性について熱い議論を交わしました。

今は世界的にエコ意識が高くなっており、使い捨てを少なくし、できるだけ再利用できるよう工夫する事がモノづくり課せられる時代になっていることは間違えないようです。

10月6日：東山田準工地域をまもる会の第5回総会を東山田4丁目町内会館で午後5時から行いました。

現会員数：81名、出席者：11名、委任状：62通、で総会は成立致しました。

議事録に関しましては別紙にて保管。

(第5回総会以降)

平成30年

11月11日：観音寺におきまして毎年恒例の「菊花展」が三里橋サークルさん主催で行われました。準工地域の会といたしましても少しではありますが参加させて頂きました。毎年感心致しますのは、花の量と大きさです。大きいものですと直径18cm以上の大輪もございました。

11月29日：毎年、東山田中学校3年生の「進路学習の中で面接練習」をおこなっています。その中で実際の面接を想定した模擬面接を行う上での面接官の依頼が今年もあり、今回も参加いたしました。これは子供たち人生初めての面接であり、生徒さんにとっては何より緊張感のある経験ですが、少しでも慣れて自分を表現できることにプラスになれば良いと思い参加しました。これは企業人として求人への面接にも役立つ、いかにして応募者の本音を引き出す事ができるかがポイントとなりますが、また簡単でない難しさも感じました。

12月7日：午前9時30分から(株)オウミさんで東山田小学校5年生の生徒さんと一緒に工場見学を兼ねて、工場を運営する為の大切なこと、会社をよくするためにはどんな工夫が必要ですか?などを生徒さんとディスカッションしました。以前は小学3年生の工場見学が多かったのですが、小学5年生は随分と大人的な雰囲気を感じました。2歳の差ですけれども子供の成長は早いな～と思いました。それと物が作られる工場に強い興味があることも感じました。

12月12日：三里橋サークルさんに前回に引き続き準工地域内の大通り沿いに大型プランター10基、円柱型プランター11基を設置して頂きました。その後も翌年の2月末までに順次増やし合計で大型プランター31基、円柱型プランター36基を設置して頂くことになりました。三里橋サークルさんには、以前にも準工のバス通り沿いに全長450mの花壇を設備して頂きましたが、今回は工場地域内へもプランターを設置して頂き大変感謝しております。お陰様で益々、準工地域が明るくキレイになりました。

平成31年

1月27日：「東山田4丁目定期総会」に来賓として出席しました。

町内会の方々にはいつも準工地域のことで、お花を植えたり防犯活動もして頂き大変感謝しております。

我々とは違いまして大変おおくの行事内容がございますので本当によく限られた予算の中で遂行されていると大変勉強になりました。

3月5日：東山田中学校コミュニティーハウスにて「学校と地域の交流会」に出席いたしました。地域における企業、事業所、教職員、保護者などが協力してキャリア教育に対して話し合い、考える交流会でした。

地域全体が学校教育にたいして協力し、子供たちが将来社会に適応できうる事に重きをおいた教育には好感が持てました。それと先ず地域社会の横のつながりを深めることが教育には大切なことも共感いたしました。

令和元年

6月14日：「製造業現場見学ツアー」をNPO法人ロクマルさんの主催で行いました。

準工地域にあります3会社の工場を見学するツアーで、工場ごとに現場でのモノ作りに関する説明と、それに対する質問に答える、やりとりでした。

来られた方々はすべて社会人で年齢も様々でしたが、初めて見る生産現場は新鮮なものが有ったようです。

これはボランティア活動の様な部分もありますが、企業が人を雇用する場合においても同じように相手がどの様に現場にたいしての思いを感じているかが現れることも有りますので参考になります。何でも人のためだけで終わることは無いですね！

9月16日：「4丁目町内会 敬老祝賀会」へ来賓として出席しました。

敬老を祝う会ですが毎年たいへんエネルギッシュな祝賀会で逆にこちらが力を頂くような元気とユーモアに溢れた会でした。

これからは100歳まで生きる人生になる可能性が高いですが、いちばん大切なのは健康寿命です。その健康のもと希望のある生活を送る事のように思われます。逆にストレスは健康にいちばん良く無いようです。しかし今はストレスを感じる事の多い時代ですけれど、お互い相手の身になって思う心が有りさえすれば随分と救われます。そう言ったことで役員さんは大変でしょうけれど、4丁目町内会は素晴らしいと感じました。

10月18日：東山田準工地域をまもる会の第6回総会を東山田4丁目町内会館で午後5時30分から行いました。

現会員数：81名、出席者8名、委任状55通、総会は成立。

総会の議事録に付きましては、別紙に保管

10月26日：NPO法人Iloveつづき.岩室さんが準工地域における職住近接のメリットについて、雇用側と働く側でどのような良い点があるのか？を双方交えたインタビューの取材が3社ほど有りました。

やはり同じ地域に住まいと働く場所があれば、通勤時間は考えなくて良いですし、お昼は家に帰ってとることも可能です。会社側も交通費が発生しません。その様なことで働き方の自由度がかなり広がります。結果的には長く雇用関係が続くこととなりますので、双方のために良いと思います。

12月20日：東山田中学校で3年生の進路学習による面接練習を12時40分から行うことになりました。今年も安藤理事が模擬面接官として参加しました。

生徒さんとしては、人生初めての面接だと思いますので、一回でも模擬面接を体験し本番での面接に少しでもお役に立てればと思い参加しました。

令和2年

1月22日：横浜国立大学大学院 都市計画研究室より空き家問題についての地域の対応と今後の課題などをアンケート用紙で答えるご依頼がありました。

現在は目立った空き家もございませんし、困っている方の情報も無いので、会としては特に対策はしておりません。

しかし現在、空き家等の発生は全国住宅総数の13.5%を占めており、現在も人口減少を背景に今後、増え続ける傾向にありますので、今後は環境問題や安全面で社会的問題になることは避けられないでしょう。

これからは地域社会の意見を取り入れた法整備が必要と感じます。